

# 道路施設(除雪)編

令和5年11月版

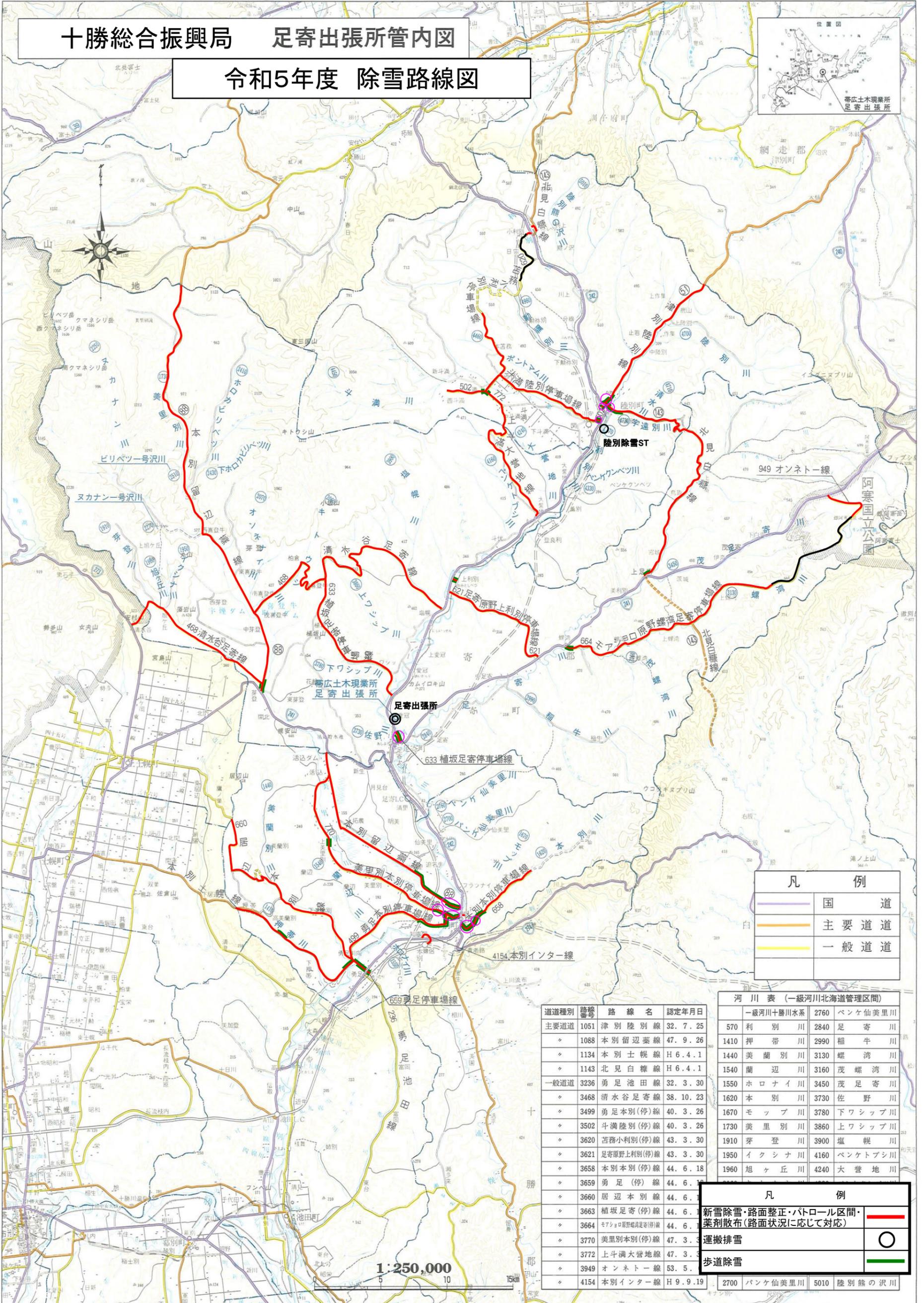
【道路除雪事業】

管理区分	区分	内容	維持管理水準	R5年度実施計画	地域の特記事項	備考	参考資料 図面表示												
日常管理型	機能回復	新雪除雪	車両の安全な交通を確保するため、道路の利用状況に応じて、原則、降雪量が10cmを超えた場合に出動	気象状況に応じた雪道巡回の実施により降雪状況や吹きだまりの状況を把握し、下記の区分による除雪目標や気象条件等を考慮しながら、維持管理水準に該当する区間や支障箇所の除雪を実施する。 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>標準交通量</th> <th>除雪目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1種除雪</td> <td>1,000台/日以上</td> <td>異常な降雪時以外は2車線以上の幅員確保を原則に、異常時においても、極力2車線の確保を図る。</td> </tr> <tr> <td>第2種除雪</td> <td>300台以上～1,000台/日未満</td> <td>2車線以上の幅員確保を原則に、異常降雪時においても、極力1車線以上の確保を図る。夜間除雪は実施しない。</td> </tr> <tr> <td>第3種除雪</td> <td>300台日未満</td> <td>2車線の幅員確保を原則に、状況により1車線幅員で待避所を設け、異常降雪時においては、一時通行止めも止むを得ない。夜間除雪は実施しない。</td> </tr> </tbody> </table>	区分	標準交通量	除雪目標	第1種除雪	1,000台/日以上	異常な降雪時以外は2車線以上の幅員確保を原則に、異常時においても、極力2車線の確保を図る。	第2種除雪	300台以上～1,000台/日未満	2車線以上の幅員確保を原則に、異常降雪時においても、極力1車線以上の確保を図る。夜間除雪は実施しない。	第3種除雪	300台日未満	2車線の幅員確保を原則に、状況により1車線幅員で待避所を設け、異常降雪時においては、一時通行止めも止むを得ない。夜間除雪は実施しない。		管内除雪延長L=277.7km	除雪区間明示(管内図)
		区分	標準交通量	除雪目標															
		第1種除雪	1,000台/日以上	異常な降雪時以外は2車線以上の幅員確保を原則に、異常時においても、極力2車線の確保を図る。															
		第2種除雪	300台以上～1,000台/日未満	2車線以上の幅員確保を原則に、異常降雪時においても、極力1車線以上の確保を図る。夜間除雪は実施しない。															
		第3種除雪	300台日未満	2車線の幅員確保を原則に、状況により1車線幅員で待避所を設け、異常降雪時においては、一時通行止めも止むを得ない。夜間除雪は実施しない。															
		拡幅除雪	車道横の雪山が高くなり幅員が狭くなる等、車両の安全な走行ができないと判断した場合に実施	雪道巡回により道路周辺の雪山の状況を把握し、維持管理水準に該当する区間について実施する。															
		運搬排雪	市街地で車道横の雪山が高く堆雪余裕も無い等、安全な住民の生活や交通の確保ができないと判断した場合に実施	雪道巡回により市街地の雪山の状況を把握し、維持管理水準に該当する区間について最低年1回実施することとし、積雪量や現地の状況を把握しながら交通の安全や住民生活に影響を与えないように取り組みます。同様に、カット排雪は初冬期や融雪期等、実施時期や積雪量を考慮しながら、効率的、効果的な場合に実施する。			管内排雪延長L=8.5km	除雪区間明示(管内図)											
		路面整正	わだちやアイスバーン等の発生により、車両の安全な走行ができないと判断した場合に出動	雪道巡回により道路の路面状況を把握し、維持管理水準に該当する区間について実施する。			管内実施延長L=277.7km	除雪区間明示(管内図)											
		初春対策(雪氷除去)	融雪水が路面にたまったり、再凍結によるアイスバーン等、融雪期の交通障害の恐れがあると判断した場合に実施	雪道巡回により路面状況を把握し、維持管理水準に該当する区間について実施する。															
		人力除雪(橋梁路肩部の除雪)	橋梁路肩部の堆雪により幅員が狭くなるなど、安全な交通確保ができないと判断した場合に実施	雪道巡回により道路状況を把握し、維持管理水準に該当する区間について実施する。															
薬剤散布	路面凍結や凍結が予想される等、交通障害の恐れがあると判断される場合に滑り止め対策を実施	雪道巡回により道路の路面状況を把握し、維持管理水準に該当する区間について実施する。			管内散布延長L=59.9km	除雪区間明示(管内図)													
局部排雪	主要な交差点部において車道横の雪山が高く堆雪余裕も無い等、安全な交通の確保が出来ないと判断した場合に実施	雪道巡回により市街地の雪山の状況を把握し、維持管理水準に該当する区間について積雪量や現地の状況を把握しながら交通の安全や住民生活に影響を与えないように実施する。																	
雪割り	冬期通行止めの道路を早期交通解放することで、広域ルートの確保や観光の支援に寄与する区間を実施	開通時期について積雪状況や気象状況を考慮し、維持管理水準に該当する区間について関係市町村と協議を行いながら実施する。																	
歩道除雪	歩行者の安全な通行を確保するため、原則、降雪量が概ね10cmを超えた場合に出動	雪道巡回により降雪状況や吹きだまりの状況及び気象条件等を考慮しながら、維持管理水準に該当する区間や支障箇所の除雪を実施する。			管内除雪延長L=32.1km	除雪区間明示(管内図)													
必要経費	施設維持	防雪柵設置費	冬期の地吹雪等による視程障害や、吹きだまりが発生する区間の解消のため実施している、仮設式の防雪柵の設置や折りたたみ式防雪柵等の立ち上げ等の費用	冬期の地吹雪等による視程障害や、吹きだまりのための対策が必要な区間について、防雪柵の立ち上げ、設置等を実施する。															
		防雪柵撤去費(用地借上費、融雪剤含む)	設置箇所周辺の農作物や景観への配慮等、沿線利用の状況に影響が出ないよう、融雪後に実施する防雪柵の撤去や収納を行う費用	地吹雪や吹きだまり対策のため立ち上げ設置した防雪柵について、設置箇所周辺の農作物や景観への配慮等、沿線利用の状況に影響が出ないよう、融雪後に撤去及び収納を実施する。															
		流雪溝(負担金、定期整備・修繕費等)	整備箇所の沿線住民に対する円滑な利用促進を図るための作動経費	流雪溝施設に関する管理協定等に基づき、必要な点検整備及び運営管理を実施する。															
		スノーポール(設置撤去、補充購入費)	構造物周辺等の除雪作業を円滑に行う際に、目印のため建てる視認標の設置や撤去のための経費	除排雪作業を円滑に行うため、構造物周辺等に視認標の設置及び撤去を実施する。															
		砂箱用砂	スリップ事故防止対策のための、設置箇所の施設経費	路面対策必要箇所に対する施設の維持管理を実施する。															
		ロードヒーティング電気代	スリップ事故防止対策のための、作動箇所の電気料	雪道巡回によりロードヒーティング設置箇所の道路環境や路面状況を確認し、効率的、効果的な作動管理を実施する。															
		保険料(除雪機械の自賠責及び重量税)	配備されている除雪機械のための保険料	除雪業務に支障のないよう配備除雪機械に対する自賠責保険、自動車重量税の加入及び支払い手続きを実施する。															
		測量試験費(雪量観測委託、観測機材費用)	統計・分析及び除雪対応のための雪量等の気象観測やデータ収集のための経費	その年の傾向や毎年の基礎資料に活用するため、雪量データ等の気象観測業務の委託を実施する。															
機械器具費(除雪機械の車検費、修繕費、消耗品費)	配備されている除雪機械のための車検費用	除雪業務に支障のないよう配備除雪機械に対する車検費用、修繕費、消耗資材の整備、支払いや購入を実施する。																	



# 十勝総合振興局 足寄出張所管内図

## 令和5年度 除雪路線図



	国 道
	主要 道道
	一般 道道

河川番号	河川名	河川番号	河川名
2760	パンケ仙美里川	3130	蝶 湾 川
570	利 別 川	2840	足 寄 川
1410	押 帯 川	2990	稲 牛 川
1440	美 蘭 別 川	3160	茂 蝶 湾 川
1540	蘭 辺 川	3450	茂 足 寄 川
1620	ホ ロ ナ イ 川	3730	佐 野 川
1670	モ ッ プ 川	3780	下 ワ シ ッ プ 川
1730	美 里 別 川	3860	上 ワ シ ッ プ 川
1910	芽 登 川	3900	塩 幌 川
1950	イ ク シ ナ 川	4160	パンケトブシ川
1960	旭 ケ 丘 川	4240	大 菅 地 川

道道種別	路線番号	路線名	認定年月日
主要道道	1051	津 別 陸 別 線	32. 7. 25
〃	1088	本 別 留 辺 薬 線	47. 9. 26
〃	1134	本 別 士 幌 線	H 6. 4. 1
〃	1143	北 見 白 糠 線	H 6. 4. 1
一般道道	2326	勇 足 池 田 線	32. 3. 30
〃	3468	清 水 谷 足 寄 線	38. 10. 23
〃	3499	勇 足 本 別 (停) 線	40. 3. 26
〃	3502	斗 満 陸 別 (停) 線	40. 3. 26
〃	3620	苦 務 小 利 別 (停) 線	43. 3. 30
〃	3621	足 寄 原 野 上 利 別 (停) 線	43. 3. 30
〃	3658	本 別 本 別 (停) 線	44. 6. 18
〃	3659	勇 足 (停) 線	44. 6. 18
〃	3660	居 辺 本 別 線	44. 6. 18
〃	3663	植 坂 足 寄 (停) 線	44. 6. 18
〃	3664	モアノ原野植坂足寄(停)線	44. 6. 18
〃	3770	美 里 別 本 別 (停) 線	47. 3. 31
〃	3772	上 斗 満 大 菅 地 線	47. 3. 31
〃	3949	オ ン ネ ト ー 線	53. 5. 1
〃	4154	本 別 イ ン タ ー 線	H 9. 9. 19

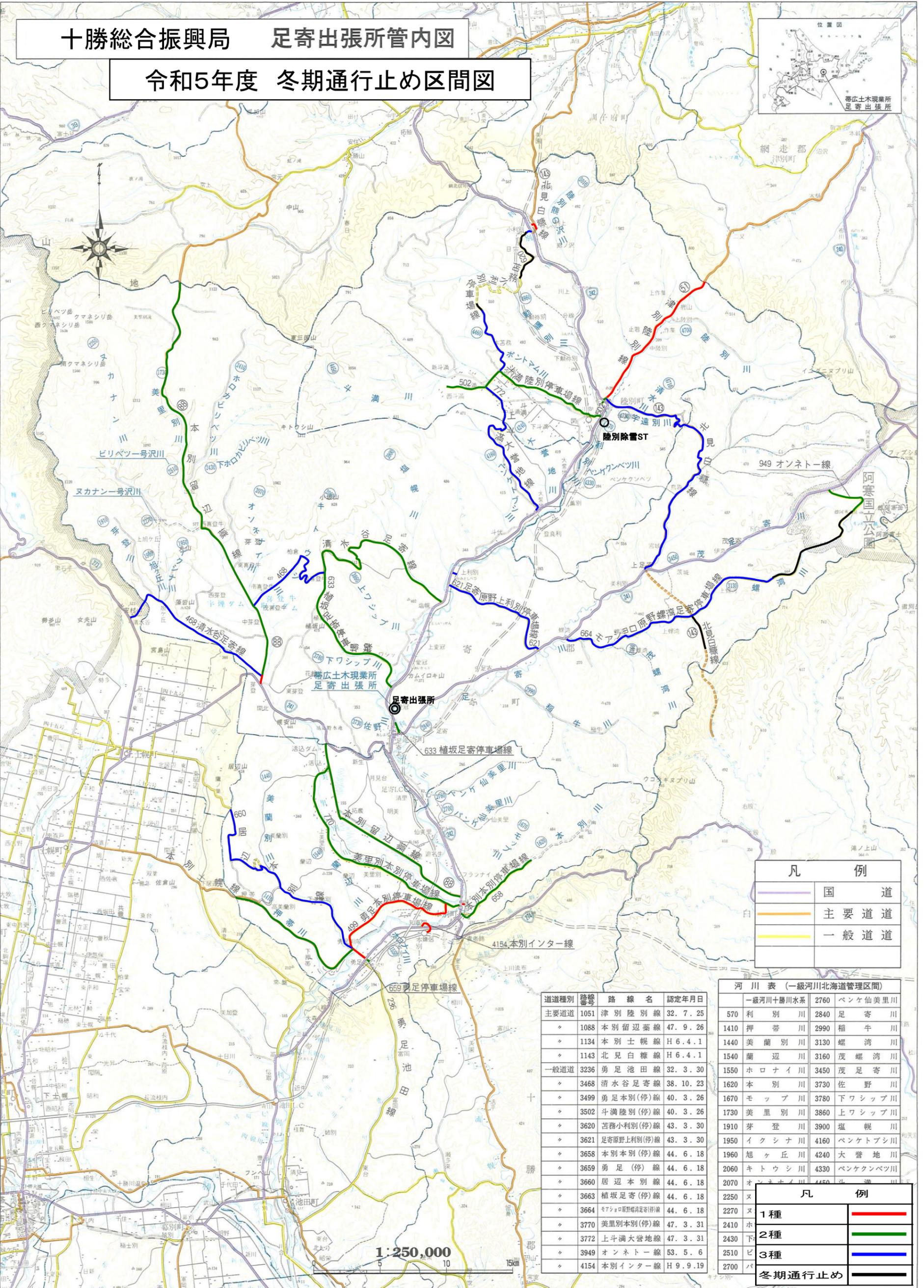
	新雪除雪・路面整正・パトロール区間・ 薬剤散布(路面状況に応じて対応)
	運搬排雪
	歩道除雪

1:250,000

帯広土木現業所

# 十勝総合振興局 足寄出張所管内図

## 令和5年度 冬期通行止め区間図



	国 道
	主要道道
	一般道道

道道種別	路線番号	路線名	認定年月日
主要道道	1051	津別陸別線	32.7.25
	1088	本別留辺菜線	47.9.26
	1134	本別士幌線	H 6.4.1
	1143	北見白糠線	H 6.4.1
一般道道	3236	勇足池田線	32.3.30
	3468	清水谷足寄線	38.10.23
	3499	勇足本別(停)線	40.3.26
	3502	斗満陸別(停)線	40.3.26
	3620	苦務小利別(停)線	43.3.30
	3621	足寄原野上利別(停)線	43.3.30
	3658	本別本別(停)線	44.6.18
	3659	勇足(停)線	44.6.18
	3660	居辺本別線	44.6.18
	3663	植坂足寄(停)線	44.6.18
	3664	モツヨロ原野(停)線	44.6.18
3770	美里本別(停)線	47.3.31	
3772	上斗満大營地線	47.3.31	
3949	オンネトー線	53.5.6	
4154	本別インター線	H 9.9.19	

一級河川十勝川水系	河川番号	河川名
2760	ベンケ	仙美里川
570	利別	川
2840	足寄	川
1410	押帯	川
2990	稲牛	川
1440	美蘭	別川
3130	螺湾	川
1540	蘭辺	川
3160	茂螺湾	川
1550	ホロナイ	川
3450	茂足寄	川
1620	本別	川
3730	佐野	川
1670	モツブ	川
3780	下ワシップ	川
1730	美里	別川
3860	上ワシップ	川
1910	芽登	川
3900	塩幌	川
1950	イクシナ	川
4160	ペンケトブシ	川
1960	旭ヶ丘	川
4240	大營地	川
2060	キトウシ	川
4330	ペンケクンベツ	川
2070	オンネナイ	川
4450	斗満	川

1種	
2種	
3種	
冬期通行止め	

1:250,000